

クルーズ船の 観光客出迎え

青
森

県立高校再編で2027年度に統合することが決まっている青森西高校（岡一仁校長）と浪岡高校（岩井友之校長）の生徒がこのほど、青森市内で「青森西高おもてなし隊」の活動を通

おもてなし活動で交流

青西高
浪岡高



下船した観光客⑥を出迎える法被姿の青森西高生と制服姿の浪岡高生。青森港国際クルーズターミナル

して初めて交流した。この日は青森港に大型クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス」が入港、両校の生徒計22人が国内外の観光客を歓迎し、地元・青森の魅力をPRした。

「おもてなし隊」は青西の生徒が2010年から続けてきたボランティア活

動。大型クルーズ船接岸の場面では、ねぶたのハネト衣装や法被姿の青西高生、制服姿の浪岡高生と一緒に客船に手を振ったり、中学生の吹奏楽演奏に合わせてハネトのように跳ねて歓迎した。

下船した観光客が行き交

う、青森港国際クルーズターミナルでは両校の生徒が並んで「おはようございませう」と声をかけながら、折り紙で作る金魚ねぶたキットを配布。観光客とハイタッチをしたり、ハネト姿の生徒が「一緒に写真撮りませんか？」と声をかけたりしていた。英語やスペイン語のあいさつが飛び交い、「あこがれの青森について来ました！」と声高らかに告げる日本人女性もいた。

青西の山本菜々さん（3年）は「たくさんの外国人観光客が来てくれて、県民としてうれしい。浪岡高校と統合するまでの間、一緒に活動をして仲を深められたら」と話した。初めて参加した浪岡高校の鎌田莉愛さん（3年）は「交流会に参加できて良かった。浪岡の特徴を残しつつ、両校のいい文化を引き継いでいきたいなと思う」と語った。（鳥谷部知子）

「東奥日報社提供」

この画像は、当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。